

令和4年度第3回看護研究倫理委員会議事要旨

日 時 令和4年6月20日（月） 16時30分～18時30分

場 所 WEB 会議（Microsoft Teams）

出席者 ■橋本委員長 ■伊藤委員 ■古賀委員 ■竹下委員 ■大矢委員
■藤谷委員 ■飯塚委員 ■三宅委員 ■原委員 ■小中委員
（■が出席，□が欠席を表す）

委員以外の出席者 申請者（竹塚院生，橋本准教授，金山学部学生）

- 本委員会は，本学医学部看護研究倫理委員会規則第5条の規定に基づく5名以上の出席を得て成立した。
- 令和4年度第2回看護研究倫理委員会議事要旨を了承した。

議事

1. 学部学生の取扱いについて

医学研究倫理審査委員会では昨年、委員会で規則の改正ではなく、議事録に残す形式で、学部学生を研究分担者として認めることが議論され、承認された。以降、学部学生が研究分担者となることが認められている。

看護研究倫理委員会もそれに準じ、同様に議事録に記録を残す形式で、指導教員が研究責任者となったうえで学部学生の申請を認め、研究分担者となることを承認してよいか審議した。

異議なく承認され、今回の委員会以後、学部学生を研究分担者として認め、倫理審査申請の審議を行うこととした。

2. 看護研究申請書の審査について

- （1）課題名：小学生の保護者が考える包括的性教育における家庭と学校の分担と連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1

橋本委員長から，資料1のとおり竹塚院生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の竹塚院生から研究の概要等についての説明及び各委員から質疑等があった。

引き続いて審議の結果，委員会で指摘のあった事項について修正することとし，本件申請について承認することとした。

- （2）課題名：大学生における新型コロナウイルスワクチンに対する意識調査・・・・・・・・・・資料2

橋本委員長から，本研究の研究責任者のため古賀副委員長へ議事の進行を依頼し，本議題の審議には参加しない旨の申し出があった。資料2のとおり金山学部学生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて古賀副委員長の議事進行により、申請者の金山学部学生から研究の概要等についての説明及び各委員から質疑等があった。

引き続いて審議の結果、委員会で指摘のあった事項について修正することとし、本件申請について承認することとした。

- (3) 課題名：COVID-19 パンデミックにおける臨地実習や学内演習での学習成果と看護技術習得の実態・・・・・・・・・・・・・資料3

橋本委員長から、資料3のとおり古賀教授より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。古賀委員が研究責任者のため、本議題の審議に参加しない旨申し出があった。

続いて申請者の古賀教授から研究の概要等についての説明及び各委員から質疑等があった。

引き続いて審議の結果、委員会で指摘のあった事項について修正することとし、本件申請について承認することとした。

3. 報告事項

○審査結果について

- 1) 申請者：医学系研究科看護学専攻 院生 毛利 佳世
課題名：妊娠期における看護職の支援と産後の母親の不安や抑うつとの関連―切れ目ない支援にむけた妊娠期支援の検討―
審査結果：承認（令和4年5月25日付け）
- 2) 申請者：医学系研究科看護学専攻 院生 生土 博之
課題名：電子カルテを使用する看護師のアセスメント記述に関する実態と課題
審査結果：承認（令和4年5月16日付け）
- 3) 申請者：医学系研究科看護学専攻 院生 山里 瑞恵
課題名：病棟看護師の心理的安全性を形成する態度と関連要因
審査結果：承認（令和4年5月16日付け）
- 4) 申請者：医学系研究科看護学専攻 院生 石川 恵美
課題名：コロナ禍の面会制限中に介護医療院に入所した高齢者の家族が入所者とのつながりを継続する体験
審査結果：承認（令和4年5月16日付け）
- 5) 申請者：臨床看護学講座 助教 永井 真寿美
課題名：親になるパーソナリティ障害をもつ女性への看護支援ガイドラインの開発
審査結果：承認（令和4年5月16日付け）